

企業動向調査 2021年4月

この調査は、富山県内企業248社からのアンケート結果をまとめたものです。
 企業の調査資料として、令和3年1月～3月の実績、令和3年4月～6月の見込み、令和3年7月～9月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数
248

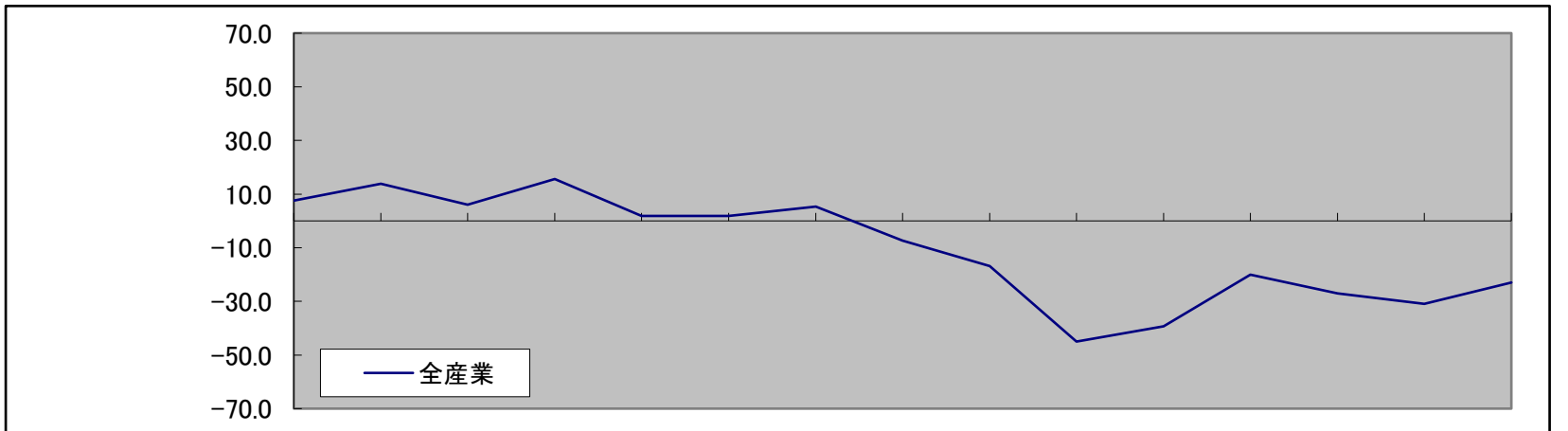
調査時期：令和3年4月下旬
 方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

内閣府が5月18日に発表した令和3年1～3月期の実質GDPは、年率換算で5.1%の減でした。外需では、ワクチン接種が進む米国向け自動車中心に増加したほか、中国を含むアジアなどでは電子部品が好調でした。一方で内需はコロナ第四波の影響により外食・衣服関係の消費が低迷しました。緊急事態宣言が発令・拡大され、今後の経済の動向には注視が必要です。

I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

		（％）												見込	予測		
種別	期別	30年				31年	元年				2年				3年		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	18.6	24.8	21.6	23.8	19.3	21.3	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	9.3	10.5	
普通		70.4	64.2	62.8	68.0	63.2	59.2	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	56.0	
悪	い	11.1	10.9	15.6	8.2	17.5	19.4	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	40.3	33.5	
D . I .		7.5	13.9	6.0	15.6	1.9	1.9	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-31.0	-23.0	



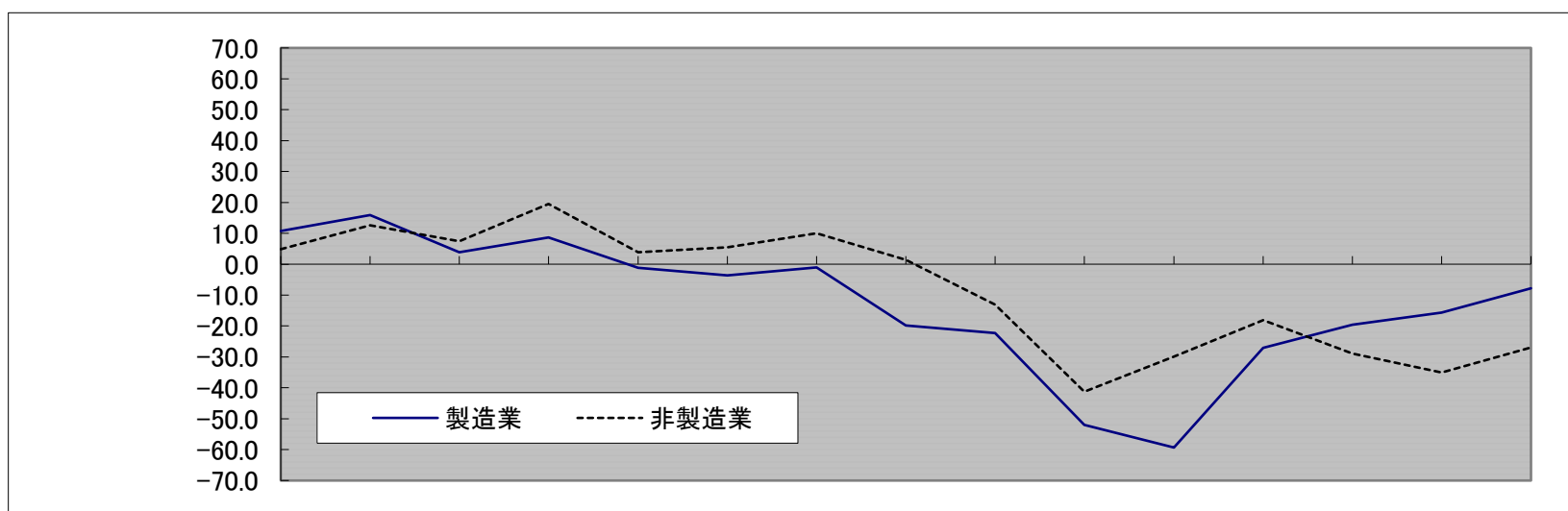
- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D. I. 「良い-悪い」は、今回調査の1-3月期ではマイナス27.0ポイントとなり、前回比で7.0ポイント改善しました。先行きについては、4-6月はさらに3.9ポイント改善予想となり、7月-9月に向けても回復予測です。

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
		30年				31年	元年				2年				3年		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	22.5	29.0	20.8	19.6	16.7	21.4	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	15.7	19.6	
普	通	65.8	57.9	62.3	69.6	65.5	53.6	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	52.9	52.9	
悪	い	11.7	13.1	16.9	10.9	17.9	25.0	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.4	27.5	
D	I	10.8	15.9	3.9	8.7	-1.2	-3.6	-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-15.7	-7.8	

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測		
		30年				31年	元年				2年				3年		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	15.5	22.2	22.1	26.2	21.1	21.3	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	7.6	8.1	
普	通	73.9	68.3	63.1	67.1	61.7	63.0	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	49.7	56.9	
悪	い	10.6	9.6	14.8	6.7	17.2	15.7	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	42.6	35.0	
D	I	4.9	12.6	7.4	19.5	3.9	5.5	10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-35.0	-26.9	



(2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前回比7.5ポイントの改善、非製造業では前回比10.8ポイント悪化しました。

非製造業については、自動車販売等の小売業で一部回復傾向が見られますが、宿泊・飲食業については依然として厳しい状況が続いています。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

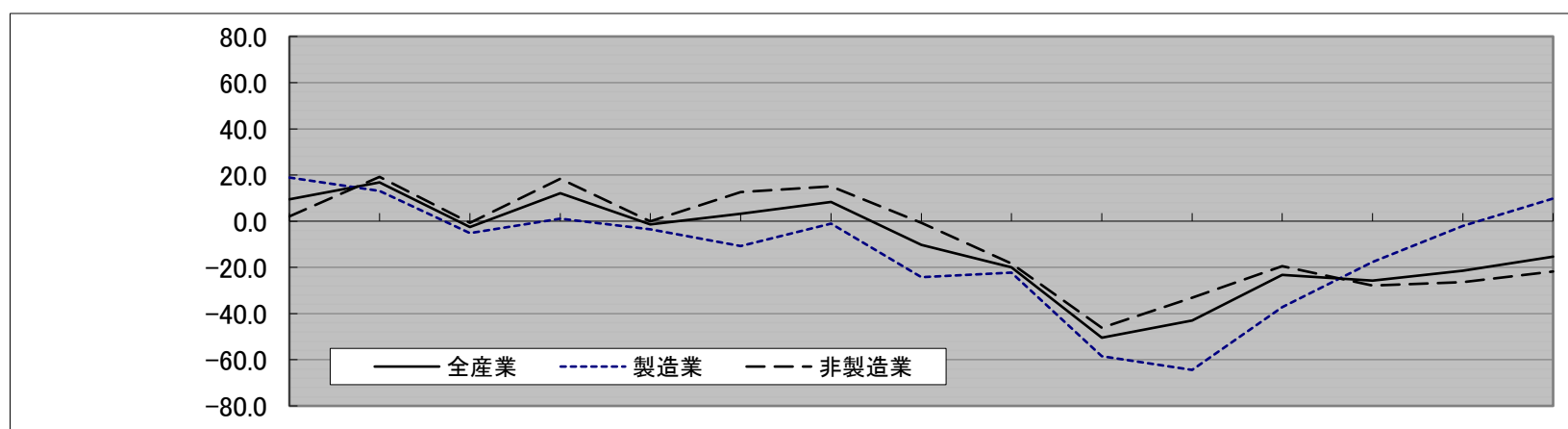
	30年												31年			元年			2年			3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～							
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月							
増加	31.2	31.0	21.7	25.3	21.1	25.6	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	14.1	16.5											
横ばい	47.0	54.7	54.0	61.5	56.3	52.1	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	50.4	51.6											
減少	21.8	14.2	24.2	13.2	22.5	22.3	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	35.5	31.9											
D . I .	9.5	16.8	-2.5	12.1	-1.4	3.3	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-21.4	-15.3											

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

	30年												31年			元年			2年			3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～							
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月							
増加	36.9	29.9	19.5	18.3	17.6	21.4	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	21.6	31.4											
横ばい	45.0	53.3	55.8	64.5	61.2	46.4	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	54.9	47.1											
減少	18.0	16.8	24.7	17.2	21.2	32.1	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	23.5	21.6											
D . I .	18.9	13.1	-5.2	1.1	-3.5	-10.7	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	-2.0	9.8											

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

	30年												31年			元年			2年			3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～							
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月							
増加	26.8	31.7	23.1	29.3	23.4	28.3	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	12.2	12.7											
横ばい	48.6	55.7	52.9	59.8	53.1	55.9	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	49.2	52.8											
減少	24.6	12.6	24.0	11.0	23.4	15.7	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	38.6	34.5											
D . I .	2.1	19.2	-0.8	18.3	0.0	12.6	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-26.4	-21.8											



- 売上高は、今回調査のD. I. はマイナス25.8となり、前回比2.6ポイント悪化となりました。先行きについては、4-6月で減少すると答えた企業数が減り、D. I. は改善を見込んでいます。ただし、新型コロナウイルス感染第四波の長期化により、今後売上に与える影響が懸念されます。
- 製造業と非製造業に分けてみると、製造業では前回比19.7ポイントの改善、非製造業では前回比8.4ポイントの悪化となっています。製造業4-6月はD. I. マイナス2.0と15.6ポイント改善予想、7-9月はD. I. プラス9.8となり大幅な改善を予測しています。非製造業では4月以降もコロナの影響大きく依然として減少が増加を上回るものの、D. I. は緩やかに改善予測です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	30年				31年	元年				2年				3年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
不足	4.2	5.0	4.1	3.5	2.6	2.6	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	9.7	8.5	
適正	90.1	89.9	88.8	91.3	89.5	89.7	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	84.3	87.9	
過剰	5.7	5.0	7.1	5.2	7.9	7.7	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.0	3.6	
D . I .	-1.4	0.0	-2.9	-1.7	-5.3	-5.1	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	3.6	4.8	

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

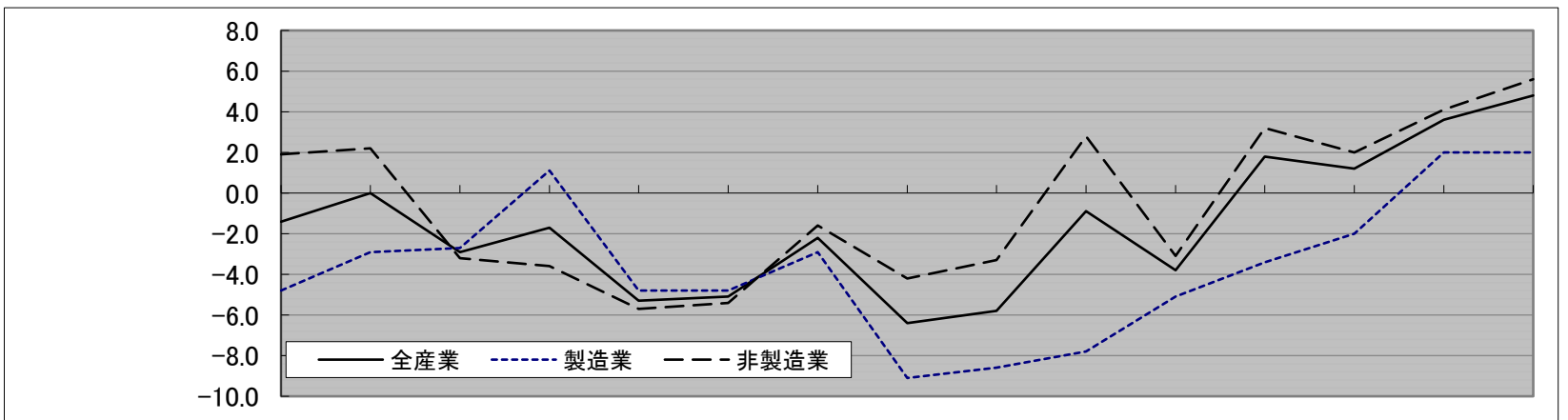
	30年				31年	元年				2年				3年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
不足	4.8	6.7	5.3	5.4	4.8	3.6	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.8	3.9	
適正	85.7	83.7	86.7	90.2	85.7	88.1	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	86.3	94.1	
過剰	9.5	9.6	8.0	4.3	9.5	8.3	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	5.9	2.0	
D . I .	-4.8	-2.9	-2.7	1.1	-4.8	-4.8	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	2.0	2.0	

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	30年				31年	元年				2年				3年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
不足	3.7	3.7	3.2	2.2	0.9	1.8	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	10.2	9.6	
適正	94.4	94.8	90.5	92.0	92.5	91.0	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.8	86.3	
過剰	1.9	1.5	6.3	5.8	6.6	7.2	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	6.1	4.1	
D . I .	1.9	2.2	-3.2	-3.6	-5.7	-5.4	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	4.1	5.6	



- (1) 1～3月の製品在庫水準D.I.はプラス1.2と若干不足が上回っています。4～6月、7～9月は売上回復見込みのなか、在庫不足感が高まる予測となっています。海外等の景況感の回復から消費拡大が見込まれる中で、コンテナ不足や半導体不足等の要因から在庫不足がさらに高まる懸念があります。

IV. 資金繰状況

資金繰状況の推移……（全産業）

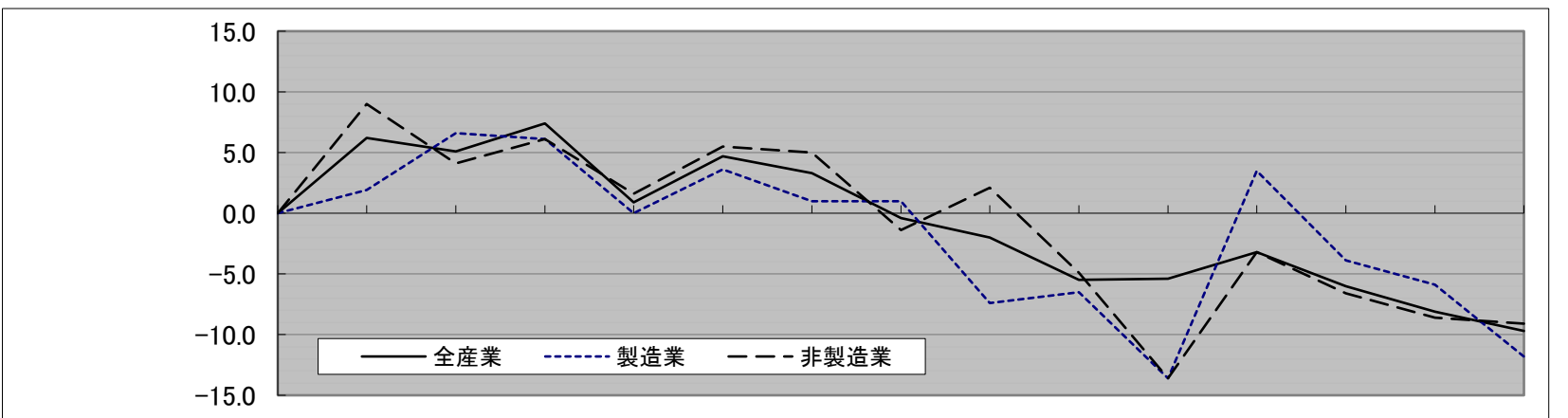
	30年												31年			元年			2年				3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～								
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月								
ゆるい	0.0	12.8	13.1	16.0	12.2	13.3	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	13.3	13.3	11.7											
普通	0.0	80.7	78.8	75.5	76.5	78.2	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	65.3	66.9												
厳しい	0.0	6.6	8.1	8.6	11.3	8.5	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	21.4	21.4												
D . I .	0.0	6.2	5.1	7.4	0.9	4.7	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-8.1	-9.7												

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）

	30年												31年			元年				2年			3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～												
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月												
ゆるい	0.0	11.2	13.2	18.3	10.6	13.1	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	9.8	9.8												
普通	0.0	79.4	80.3	73.1	78.8	77.4	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	71.9	72.5	74.5	68.6												
厳しい	0.0	9.3	6.6	8.5	10.6	9.5	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	12.3	15.7	15.7	21.6												
D . I .	0.0	1.9	6.6	6.1	0.0	3.6	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	3.5	-3.9	-5.9	-11.8												

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）

	30年												31年			元年				2年			3年			見込	予測
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～												
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月												
ゆるい	0.0	13.8	13.1	14.6	13.3	13.4	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	14.2	12.2												
普通	0.0	81.4	77.9	76.8	75.0	78.7	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	62.9	66.5												
厳しい	0.0	4.8	9.0	8.5	11.7	7.9	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	22.8	21.3												
D . I .	0.0	9.0	4.1	6.1	1.6	5.5	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-13.6	-3.2	-6.6	-8.6	-9.1												



- (1) 1-3月の資金繰状況は全産業で悪化。新型コロナ感染の再拡大からとくに非製造業のD. Iはマイナス6.6ポイントと大きく悪化しています。製造業では1-3月以降D. Iマイナスが拡大予測。受注回復予測から増加運転資金発生を見込む前向きな変化とも捉えられます。

V. 利益状況

利益状況の推移…… (全産業)

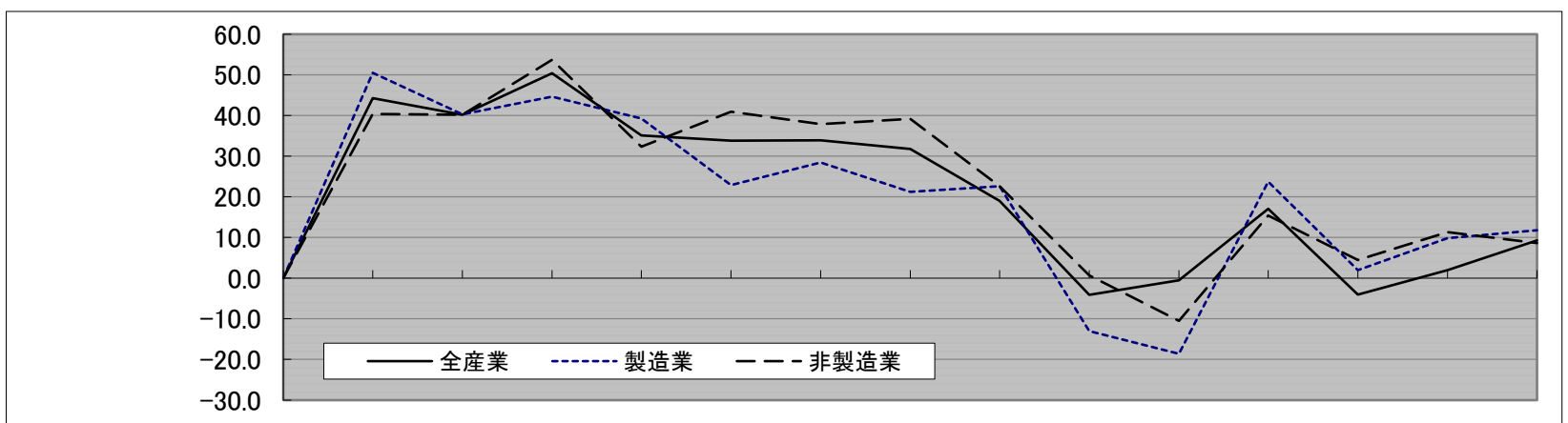
	(%)												見込	予測								
	30年				31年				元年						2年				3年			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
黒字	0.0	54.2	53.3	57.5	46.9	50.5	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	28.6	31.0							
収支トントン	0.0	35.9	33.7	35.4	41.2	32.9	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	44.8	47.2							
償却後赤字	0.0	9.9	13.1	7.1	11.8	16.7	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	26.6	21.8							
D . I .	0.0	44.3	40.2	50.4	35.1	33.8	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	2.0	9.3							

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

	(%)												見込	予測								
	30年				31年				元年						2年				3年			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
黒字	0.0	60.7	57.1	54.3	50.0	44.6	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	35.3	35.3							
収支トントン	0.0	29.0	26.0	35.9	39.3	33.7	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	39.2	41.2							
償却後赤字	0.0	10.3	16.9	9.8	10.7	21.7	17.6	17.2	19.2	45.5	44.1	27.5	37.3	25.5	23.5							
D . I .	0.0	50.5	40.3	44.6	39.3	22.9	28.4	21.2	22.6	-13.0	-18.6	23.7	2.0	9.8	11.8							

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

	(%)												見込	予測								
	30年				31年				元年						2年				3年			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
黒字	0.0	50.0	50.8	59.3	44.9	54.3	50.0	51.0	41.8	34.3	23.4	42.2	33.0	34.4	29.9							
収支トントン	0.0	40.4	38.5	35.2	42.5	32.3	37.9	37.1	39.0	32.2	42.7	31.2	38.5	42.5	48.7							
償却後赤字	0.0	9.6	10.7	5.6	12.6	13.4	12.1	11.9	19.2	33.6	33.9	26.7	28.5	23.1	21.3							
D . I .	0.0	40.4	40.2	53.7	32.3	40.9	37.9	39.2	22.6	0.7	-10.5	15.4	4.5	11.3	8.6							

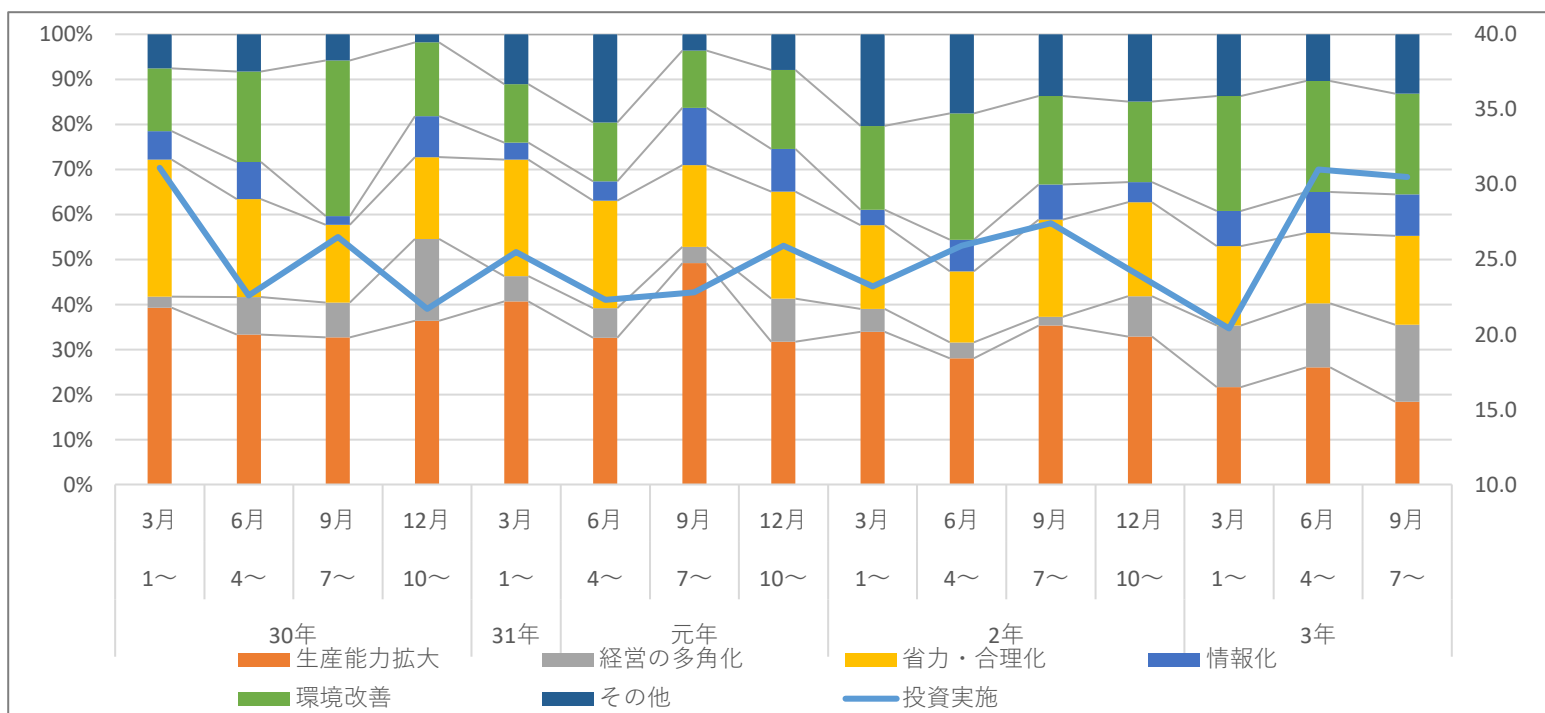


- (1) 全産業の1-3月利益状況のD. Iは21.1ポイント悪化し償却後赤字が黒字を上回りました。製造業でも悪化しましたが、4月以降は売上増加見込みであり利益状況も改善を予測しています。非製造業では4-6月改善見込みですが、7-9月は2.7ポイント悪化予測です。

VI. 設備投資動向

	30年												31年			元年			2年				3年			見込	予測			
	1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月							
	投資実施	31.1	22.6	26.5	21.7	25.5	22.3	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	31.0	30.5	68.9	77.4	73.5	78.3	74.5	77.7	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	69.0

	30年				31年				元年				2年				3年													
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月											
	生産能力拡大	39.2	33.3	32.7	36.4	40.7	32.6	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	26.0	18.4	2.5	8.3	7.7	18.2	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	14.3
経営の多角化	2.5	8.3	7.7	18.2	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	14.3	17.1	30.4	21.7	17.3	18.2	25.9	23.9	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	15.6	19.7
省力・合理化	6.3	8.3	1.9	9.1	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.1	9.2	6.3	8.3	1.9	9.1	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.1	9.2
情報化	13.9	20.0	34.6	16.4	13.0	13.0	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	24.7	22.4	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	10.4	13.2
環境改善	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	10.4	13.2	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	10.4	13.2
その他	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	10.4	13.2	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	10.4	13.2



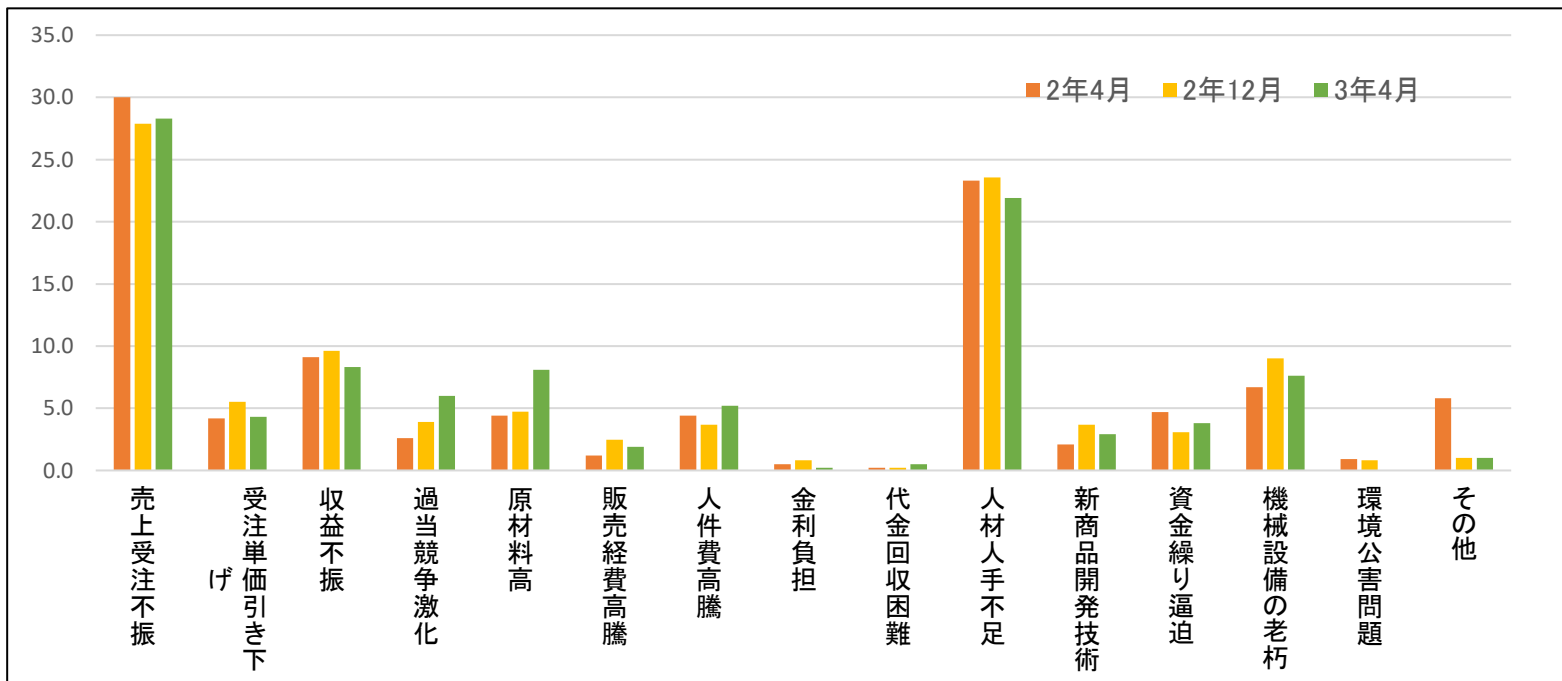
- (1) 今回の調査では、設備投資を実施した企業は20.4%となり、前回より減少しましたが4月以降は回復を見込みます。

設備投資を実施した目的については、コロナ発生後に新型コロナ感染防止対策の「環境改善」や「情報化」を目的としたIT投資が増加しています。1-3月以降、事業再構築を目指した「経営の多角化」を目的とした設備投資が増加すると予測されます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2年4月 (前年同月)	2年12月 (前回)	3年4月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	30.0	27.9	28.3	(23.6)	(29.6)	0.4
受注単価引き下げ	4.2	5.5	4.3	(3.4)	(4.5)	-1.2
収益不振	9.1	9.6	8.3	(7.9)	(8.5)	-1.3
過当競争激化	2.6	3.9	6.0	(5.6)	(6.0)	2.1
原材料高	4.4	4.7	8.1	(13.5)	(6.6)	3.4
販売経費高騰	1.2	2.5	1.9	(0.0)	(2.4)	-6.0
人件費高騰	4.4	3.7	5.2	(2.2)	(6.0)	1.5
金利負担	0.5	0.8	0.2	(1.1)	(0.0)	-0.6
代金回収困難	0.2	0.2	0.5	(0.0)	(0.6)	0.3
人材人手不足	23.3	23.6	21.9	(20.2)	(22.4)	-1.7
新商品開発技術	2.1	3.7	2.9	(6.7)	(1.8)	-0.8
資金繰り逼迫	4.7	3.1	3.8	(3.4)	(3.9)	0.7
機械設備の老朽	6.7	9.0	7.6	(10.1)	(6.9)	-1.4
環境公害問題	0.9	0.8	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.8
その他の	5.8	1.0	1.0	(2.2)	(0.6)	0.0



(1) 当面の経営上の問題点として最も高いポイントとなったのは、前回同様、売上受注不振です。

次に高いポイントとなったのは「人材人手不足」の21.9%であり、コロナ前の人材不足の状況は改善しつつあるとは言え、まだ人手が足りていない状況です。しかし、人件費高騰については3.7%から5.2%まで増加しています。

また、「原材料高」は前回比3.4%増加、「過当競争激化」は前回比2.1%増加しており、今後注視が必要です。